
目次

- ・ 2010 年度（平成 22 年度）中部支部総会の報告
- ・ 中部支部第 19 期役員選挙結果の報告
- ・ 第 16 回公開気象講座の報告
- ・ 平成 22 年度気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム

◆ 2010 年度（平成 22 年度）中部支部総会の報告

2010 年度日本気象学会中部支部総会が 7 月 23 日（金）、16 時 00 分より名古屋地方気象台会議室において開催されました。開会の辞の後、高瀬邦夫支部長により、「気象学は研究と実用の接点が多岐にわたる学問である。学会と世の中との架け橋として支部活動に力をいれたい。」という内容の挨拶がありました。その後、名古屋地方気象台の由比会員が議長として選出されました。

中部支部会員のうち、議決権を有する通常会員は 99 名となっています。総会成立のためには支部規約により、通常会員数の過半数の参加（委任状を含む）を必要とするために、50 名以上が必要となります。委任状（総会参加ハガキ）の総数が 46 通（ただし、総会参加者で委任状を提出した通常会員数を除く）である旨の報告がありました。委任状（46 通）と総会への通常会員の出席者（12 名）の総数（58 名）が、通常会員数（99 名）の過半数（50 名）を超えたことから、総会の成立が確認されました。

その後、支部だより第 70 号に掲載された議案(1)～(5)について審議されました。

(1) 2009 年度（平成 21 年度）事業報告

事務局より支部だより（第 68 号、69 号）の発行、第 15 回公開気象講座（「台風研究の最前線」というテーマで、2009 年 8 月 25 日に名古屋大学野依記念学術交流館にて開催され、60 名を超える参加があった）、中部支部からの講師の派遣（2009 年 10 月 3 日に長野県教育会館で開催された長野地方気象台と気象学会中部支部共催の気象講演会に廣田勇氏を講師として派遣した）、支部研究会の開催（2009 年 12 月 8～9 日の 2 日間にわたって三重大学において開催され、27 件の発表が行われた）、などについての報告があり、承認されました。

(2) 2009 年度（平成 21 年度）中部支部会計報告

事務局より 2009 年度の会計報告があり、承認されました。

(3) 2009 年度（平成 21 年度）中部支部会計監査報告

多々良会計監査より、2009 年度の支部会計が適正に処理されている旨の報告があり、

承認されました。

(4) 2010 年度（平成 22 年度）中部支部事業計画案

事務局より今年度の事業計画案が下記のように提案され、承認されました。

- ・支部だよりの発行（第 70 号、第 71 号）。
- ・第 16 回公開気象講座を「集中豪雨」というテーマで 8 月 23 日に名古屋大学野依記念学術交流館において開催する。
- ・今年度の支部研究会を 11 月に富山において開催する。
- ・今年度内にサイエンスカフェを 2 回開催する。

(5) 2010 年度（平成 22 年度）中部支部予算案

事務局から今年度の事業計画に基づいた予算案が提案され、承認されました。

◆中部支部第 19 期役員選挙結果の報告

第 18 期役員の任期が 2010 年 6 月 30 日で満了となるため、第 19 期の支部役員選挙に伴う開票が 6 月 25 日に日吉純一会員の立会いのもと、選挙管理委員会（上杉和哉委員長、平野貴嗣委員、吉村 香委員）により行われましたので、以下のとおり開票結果をお知らせ致します。なお、第 19 期役員の任期は 2010 年 7 月 1 日から 2012 年 6 月 30 日までの 2 年間です。

1. 理事

東海地区（愛知県、岐阜県、三重県）

当選	52 票	上田 博	名古屋大学
当選	51 票	辻村 豊	岐阜地方気象台
当選	51 票	高瀬 邦夫	名古屋地方気象台
当選	50 票	藤田由紀夫	名古屋地方気象台
当選	51 票	甲斐 憲次	名古屋大学
当選	50 票	立花 義裕	三重大学

北陸地区（富山県、石川県、福井県）

当選	47 票	田代 憲一	富山地方気象台
----	------	-------	---------

長野・静岡地区（長野県、静岡県）

当選	47 票	三角 幸夫	長野地方気象台
----	------	-------	---------

2. 会計監査

当選	51 票	多々良秀世	日本気象協会中部支社
----	------	-------	------------

◆ 第 16 回公開気象講座の報告

日本気象学会中部支部主催の公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるもので、今年で 16 回目を数えます。今年度は、「集中豪雨」というテーマで 8 月 23 日（月）に名古屋大学野依記念学術交流館において行われました。高瀬邦夫支部長の挨拶の後、気象庁気象研究所の石原正仁氏により「気象庁における降水観測の発展と最新観測システムの成果」というタイトルで、気象庁による、豪雨や台風を監視するための観測機器や観測網の発展と豪雨監視能力の進歩を、最新の観測システムによる観測例も含めて紹介していただきました。次いで、名古屋大学地球

水循環研究センターの篠田太郎氏により「集中豪雨をもたらす降水システムの構造 ～平成20年8月末豪雨を例として～」というタイトルで、平成20年8月末豪雨をもたらした降水システムや大気循環場について、名古屋大学のマルチパラメータレーダと雲解像モデルを用いた数値シミュレーションによる最新の研究成果をわかりやすく紹介していただきました。次に、気象庁気象研究所の鬼頭昭雄氏により「気候変動に伴う極端気象現象の将来変化」というタイトルで、高い空間解像度の気候モデルを用いて、熱帯低気圧や大雨等の極端気象現象が地球温暖化に伴い今後どのように変わっていくことが予想されるのかを紹介していただきました。最後に、気象庁の牧原康隆氏により、「気象業務からみた集中豪雨の予報技術と防災への生かし方」というタイトルで、気象庁の豪雨対応改善のための技術やしくみの発展と現在の集中豪雨に対する気象情報・警報発表の流れ、今後の展望について、さらに、防災機関や住民に望まれる防災対応までを紹介していただきました。会場には80名を超える参加者がありました。

◆ 平成22年度気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム

今年度の中中部支部研究会は11月15日(月)および16日(火)の2日間にわたって、富山県富山市の富山大学内において開催する予定です。既に申し込みは締め切られておりますが、今回の発表件数は31件に及び、気候システム、エアロゾル、大気海洋相互作用や身近な大気現象に関連する研究など、いろいろな分野における講演が予定されています。会員の皆様には、講演要旨集もあわせて配布する予定ですが、研究会のプログラムを以下に添付いたしました。ご興味のある方は是非とも会場までお越しください。

◇ 平成22年度支部研究会概要

日時：2010年11月15日(月曜日) 12:00～18:10(終了後、別会場で懇親会)

11月16日(火曜日) 09:00～15:00

場所：富山大学理学部多目的ホール(理学部2号館2階)(富山県富山市五福3190)

交通案内(周辺地図は支部だよりの最後にあります)：

会場となる富山大学理学部多目的ホールへは、JR北陸本線またはJR高山本線の富山駅下車。富山駅正面口より大学前行きの富山市内電車を利用し、「大学前」駅にて下車してください。バスを利用される場合は富山駅正面口より富山地铁・路線バス「富山大学経由」(3番乗り場)を利用し、「富山大学前」で下車してください。市内電車、バス共に富山駅から大学構内への所要時間は約20分です。

◇ 講演プログラム

11月15日(月)

12:00～12:10 開会の辞 高瀬邦夫(中部支部長/名古屋地方気象台)

(1)12:10～12:30 田上善夫*(富山大学人間発達科学部)

「富山とその周辺における顕著な昇温・降温の出現について」[P]

(2)12:30～12:50 大沼啓人*(福井地方気象台)

「敦賀の風で知る濃尾平野の猛暑」[P]

(3)12:50～13:10 吉村 香*・森本奈歩・松本 守・喜内 恒・林 真由(名古屋地方気象台)

「濃尾平野における夏季の高温について」[P]

(4) 13:10 ~ 13:30 東海林孝幸*・三島浩敬・田中里佳・高野啓太・北田敏廣 (豊橋技術科学大学環境・生命工学系)

「緑地由来冷気による市街地の夏季夜間気温低減効果の実測調査」 [P]

(5) 13:30 ~ 13:50 小林有友*(富山大学大学院理工学教育部)・清水 厚(国立環境研究所)・青木一真(富山大学大学院理工学研究所)

「富山上空に飛来する黄砂粒子の光学的特性」 [P]

(6) 13:50 ~ 14:10 青木一真*・島田 互(富山大学大学院理工学研究所)

「立山・浄土山の富山大学立山施設における山岳域の大気観測」 [P]

14:10 ~ 14:20 休憩

(7) 14:20 ~ 14:40 田中隆一*

「ウィンドプロファイラーのデータから分かること」 [資料配布]

(8) 14:40 ~ 15:00 宇治橋康行*(福井工業大学土木環境工学科)

「あわら市北湯湖畔における蒸発量観測」 [P]

(9) 15:00 ~ 15:20 小松謙介*・立花義裕・山田祐司 (三重大学大学院生物資源学研究所)

「狭域多点同時観測による鈴鹿おろし準断面解析」 [P]

(10) 15:20 ~ 15:40 草刈智一*・寒川典昭(信州大学工学部)・小尻利治・浜口俊雄(京都大学防災研究所)・越 洋之・山崎基弘(信州大学工学部)

「年最大日降水量の非定常頻度分析 ~甲信越地域への適用~」 [P]

(11) 15:40 ~ 16:00 上杉忠孝*(中部航空地方気象台)

「日最大1時間降水量 40.5mm -いずれくる飛行場大雨警報に備えて-

-2009年11月11日の事例- [P]

16:00 ~ 16:10 休憩

(12) 16:10 ~ 16:30 平松章男*(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科/日本気象予報士会北陸支部)・Huynh Van Nam・中森義輝(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科)

「異常天候早期警戒情報の確率予測資料を利用した意思決定支援に関する研究」 [P]

(13) 16:30 ~ 16:50 吉野 純*・飯田潤士・安田孝志(岐阜大学大学院工学研究科)

「2010年7月可児豪雨に対するモデルアンサンブル予報実験」 [P]

(14) 16:50 ~ 17:10 塩田美奈子*(富山大学大学院理工学教育部)・川村隆一(富山大学大学院理工学研究所)・初鹿宏壮(富山県環境科学センター)・飯塚 聡(防災科学技術研究所)

「黒潮流域周辺における総観規模擾乱活動」 [P]

(15) 17:10 ~ 17:30 ディアワラ アリマ*・立花義裕(三重大学大学院生物資源学研究所)・大島和裕(北海道大学大学院地球環境科学研究科)

「Influence of global latent heat flux upon the global precipitation」 [P]

(16) 17:30 ~ 17:50 依田和子*・近藤淳也・轡田邦夫(東海大学海洋学部)・永延幹男(水産総合研究センター)

「南大洋における海上風の長期変動 -DPOIとの相関解析-」 [P]

(17) 17:50 ~ 18:10 亀田 傑*・轡田邦夫(東海大学海洋学部)・小山 真(NEC 航空宇宙システム)

「全球海上風格子データセットの相互比較による精度検証」 [P]

18:30 ~ 懇親会

11月16日(火)

(18) 09:00 ~ 09:20 佐々木孝将*・久保田雅久(東海大学海洋学部)

「**全球放射フラックスプロダクトの比較**」[P]

(19) 09:20 ~ 09:40 伊藤匡史*・立花義裕(三重大学大学院生物資源学研究所/JAMSTEC)・猪上 淳・菊地 隆(JAMSTEC)

「**2009年秋の北極海ラジオゾンデ観測によって観測されたメソ渦列の診断**」[P]

(20) 09:40 ~ 10:00 大鹿美希*・立花義裕(三重大学大学院生物資源学研究所)

「**冬のNAOパターンが翌冬の大気場に与える影響**」[P]

(21) 10:00 ~ 10:20 山本一輝*(富山大学大学院理工学教育部)・川村隆一(富山大学大学院理工学研究部)・井芹慶彦(東京工業大学大学院情報理工学研究科)

「**インド洋・西太平洋のOLR変動の自己組織化マップ**」[P]

10:20 ~ 10:30 休憩

(22) 10:30 ~ 10:50 平岡 愛*(富山大学大学院理工学教育部)・川村隆一(富山大学大学院理工学研究部)・一柳錦平(熊本大学大学院自然科学研究科)

「**同位体循環モデルを用いた富山の降水起源解析**」[P]

(23) 10:50 ~ 11:10 楠 祐樹*(富山大学大学院理工学教育部)・川村隆一(富山大学大学院理工学研究部)

「**梅雨前線に遠隔影響をもたらす台風起源のテレコネクション**」[P]

(24) 11:10 ~ 11:30 小田真祐子*(富山地方気象台)

「**富山県の気候の経年変化について**」[P]

(25) 11:30 ~ 11:50 皆巳幸也*・浅井 悟(石川県立大学生物資源環境学部)

「**金沢における冬季の降水形態(固相および液相)の長期変化**」[P]

(26) 11:50 ~ 12:10 五味千絵子*・葛葉泰久(三重大学大学院生物資源学研究所)

「**大雨頻度の長期変動に関する研究**」[P]

12:10 ~ 13:10 昼休み

(27) 13:10 ~ 13:30 岩井邦中*

「**富士山頂の気温 -日最高気温、日最低気温の起時間帯を中心に-**」[P]

(28) 13:30 ~ 13:50 吉田信夫*(多治見の気温をはかる会)

「**多治見の夏の暑さについて**」[P]

(29) 13:50 ~ 14:10 山中麻巴香*・皆巳幸也(石川県立大学生物資源環境学部)

「**能登半島の山岳における光化学オキシダントの鉛直分布**」[P]

(30) 14:10 ~ 14:30 市瀬和義*(富山大学人間発達科学部)・木下正博(富山県総合教育センター)

「**フェルマーの定理の哲学的意味と屈折実験**」[P]

(31) 14:30 ~ 14:50 木下正博*(富山県総合教育センター)・市瀬和義(富山大学人間発達科学部)

「**富山湾の曇気楼(その2)**」[P]

14:50 ~ 15:00 講評

中村健治(気象学会理事/名古屋大学)

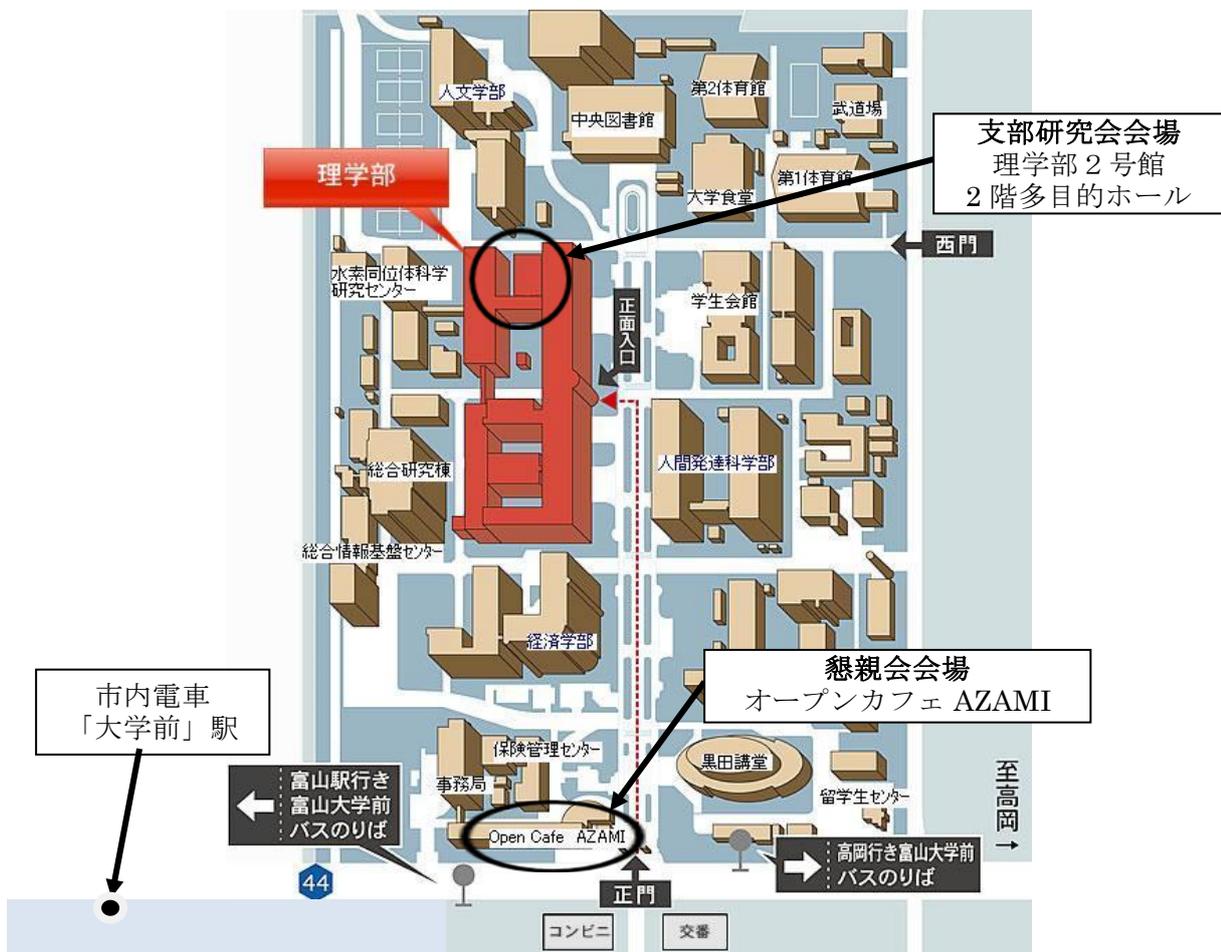
閉会の辞

講演は*が付けられた方により行われる予定です。各講演のタイトルの後に付けられて

いる[P]はPC プロジェクタによる講演を、[OHP]はオーバヘッドプロジェクタによる講演を表します。今回の支部研究会では、講演1件あたりの時間は20分を予定しております。各講演者の方は講演時間15分、質疑時間5分を目安とした講演をお願いいたします。

支部研究会についてのお問合せ先
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学地球水循環研究センター
藤波初木
hatsuki@hyarc.nagoya-u.ac.jp
電話：052-789-3474
FAX：052-789-3436

会場案内図



(地図：富山大学のウェブページより、一部情報を付加した.)